

【3-23】

| | |
|----------------------|--|
| 湾・灘の区分 | 周防灘 |
| 取組の名称 | ビーチクリーン |
| 事業期間及び事業費 | 事業期間： 2015 年度(平成 27 年度)～2019 年度(平成 31 年度) 事業費： 一般経費の中からの支出で予算化されていない。 |
| 事業体制 | 当会、市民ボランティア、企業など |
| 事業の背景・目的 | 中津干潟の保全を目的として当会発足当初から年 4 回 20 年間継続している海岸清掃活動を行っている。海岸の景観は比較的良好な状態を保っている。 |
| 事業場所の詳細 | 中津市大新田海岸、三百間浜。 |
| 事業内容 | 企業や市民ボランティアの方々と協力して、海岸のごみ拾いを行う。コドラートを設置し海ごみの調査も同時に行っている。 |
| モニタリング方法(効果・影響の確認方法) | ①調査項目 実施回数、参加者数、ごみ回収量、漂着ごみコドラート調査 ②調査時期・頻度 概ね5月、9月、12月、3月の年4回 ※うち2回は「世界クリーンアップ」に参加 ③調査地点数・調査場所 2ヶ所(中津市大新田海岸、三百間海岸) ④モニタリング方法 ・実施回数、参加者数、ごみ回収量を集計 ・漂着ごみコドラート調査： 海岸にコドラートを設置し、漂着ごみの量・組成等を調査 |
| 取組による効果・影響及びその判断基準等 | 大分県内の海岸に漂着するごみの調査によると中津の海岸は比較的良好な状態が保たれていることがわかる。 |
| モニタリング結果の分析及び活用の方法 | ・分析方法： ごみの量及び内容の経年変化、他地域との比較を分析 ・活用方法： 基礎的なデータの記録、環境学習への利用、海ごみ問題解決のための問題提起 |
| 現状での課題 | 参加者の固定化にともなう慣れが生じており、細かなごみへの対応がおろそかになったり、初めてやってこられた方のフォローなどがうまくできていない。ごみの内容については、カキ養殖用のプラスチック製スパーサーの多さが問題となっている。 |
| 今後の予定等 | 継続して協力を続ける。 |
| 取組事例についての発表資料等 | 『おおいたきれいな海岸づくりマップ』 大分県廃棄物対策課、2015 年。 |
| 情報提供元 | 特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会 |